

土木學會誌

第三十卷 第三號

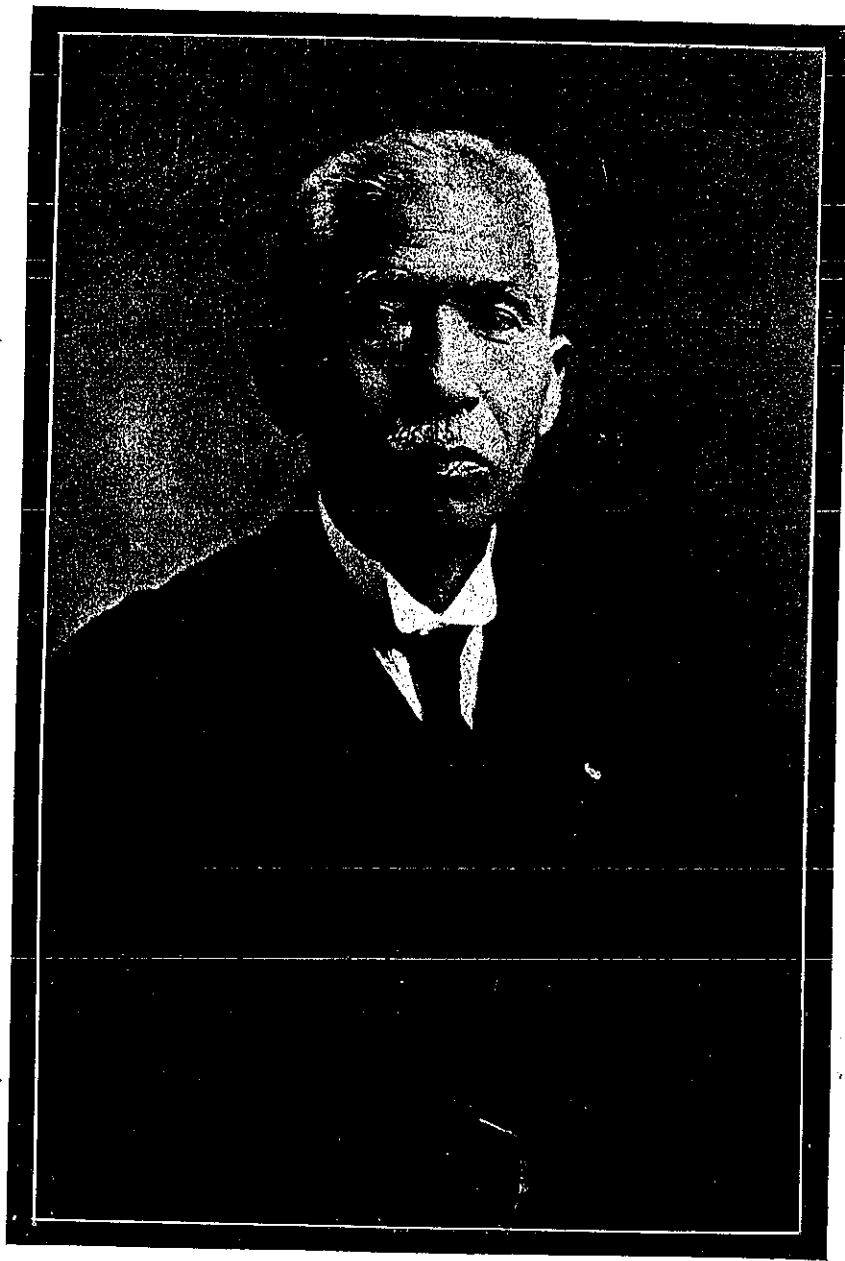
目 次

會 告	頁
就任の辭	會長 鈴木雅次
會長講演	
土木建設上の緊急対策に就て	會長 黒河内四郎 163
論 説	
轉近に於ける航空基地設定上の諸問題	正會員 藤森謙一 156
懸賞 飛行場急速建設の新構想	
審査評	161
佳 作	
可搬式滑走路舗装工	正會員 前 田 稔 正會員 奥 村 勝 赤 澤 常 大 島 通 豪 治
飛行場の抜根作業に就いて	准會員 戸 川 豪 167
選 外	
飛行場急施上の諸問題	准會員 田 中 和 夫 170
飛行場急速建設の新構想	太 田 喜 代 志 181
線路飛行場の計畫	正會員 藤 山 和 兵 衛 187
飛行場急速建設の新構想	仙 石 國 雄 192
迅速飛行場設定に際し施工基面高の決定其他	小 川 重 行 199
飛行場土發破施工法	正會員 加 賀 美 一 二 三 203
土木學會誌論文集三月號内容梗概	
篩分作業に関する實驗的考察	准會員 丸 安 隆 和 210
土木防空資料	211
會 報	216

昭和 19 年 3 月

土 木 學 會

昭和十二年九月十日第三種郵便物認可
昭和十九年三月二十五日印刷納本
昭和十九年三月一日發行
土木學會誌 第三十卷 第三號



故名譽會●員 工學博士 名井九介君

故 名譽會員 工學博士 名井九介君 略歴

名井九介君は明治二年山口市吉敷に生る。明治二十五年七月東京帝國大學工科大學土木工學科を卒業後内務省に入り、明治二十七年十月土木監督署技師に任せられ、明治三十八年四月内務技師に任せらる。明治四十一年四月歐米各國へ差遣せられ、大正四年二月土木學會主事に就任せらる。大正六年二月土木學會常議員に選任せられ、大正七年一月北海道廳技師に任せらる。大正八年六月工學博士の學位を授與せられ、昭和二年六月特旨を以て正三位に敍せられ、勳三等に敍し瑞寶章を授けらる。昭和四年六月東京高等工學校々長に就任せられ、昭和七年二月土木學會會長に選任せらる。昭和十一年三月東京高等工學校名譽校長に推舉せられ、昭和十七年十二月東京高等工學校校長に再任せらる。君は官界にありては内務技師或は北海道廳技師として我邦河川工事の發達に貢獻する所大なり。又土木學會會長、雨龍電力株式會社顧問、東京高等工學校校長其の他各種委員、顧問として我邦土木界、教育界に盡瘁せられ其の功績赫々たり。

高齢疾を得て遂に起たず、昭和十九年一月二十三日澁谷區代々木上原町の邸に薨す。享年七十有六。

趣味は 謡曲、圍碁、狂句、俳句等々多趣味であつた。



鈴木雅次

會長
工學博士
鈴木雅次



内海清

副會長
工學士
内海清



佐土原勤

副會長
工學士
佐土原勤